

～まもる・つなぐ・創り出す～

連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会」

連合は、果敢に社会課題へ対応していくための新たなビジョン「働くことを軸とする安心社会―まもる・つなぐ・創り出す」を昨年、策定しました。連合ビジョンでは、2035年の社会を展望し、これまで連合が運動の基軸としてきた価値観を継承・深化させた「めざす社会」を次のとおり示しています。

2035年を展望した 連合がめざす社会

- ・働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型社会。
- ・「持続可能性」と「包摂」を基底に置き、年齢や性、国籍の違い、障がいの有無などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会。

働く者・生活者の目線に 立った社会の実現を

政府は9月21日、退任する菅首相の後継選出を行う臨時国会の召集日を10月4日とすることを閣議決定しました。このことから、10月21日に満了を迎える

衆議院議員任期を越えて選挙が行われることが確実な状況となりました。政治には、様々な不安を抱えながら日々働き、暮らしている国民と正面から向き合い、それに応える長期展望を示すこと、そして多様な意見に耳を傾けながら社会的合意形成をはかることが求められます。しかしながら、今の政治状況は、短期的な弥縫策の積み上げと政局優先の状況に終始していると言わざるを得ません。衆議院選挙が真近と なってきました。すべての働く者・生活者が安心して働き、暮らすことができる社会を築いていくことのできる社会をめぐり、誰もが共有できる将来ビジョンを描き、その実現に向けて社会を動かしていくことが、いま必要ではないでしょうか。

市民の笑顔「サッポロスマイル」があふれる街に 2022年度札幌市予算編成へ向けた政策要求



組織の総意!要求書を提出

討を求めました。雇用政策や子ども・子育て、教育施策の充実、公契約条例の制定など、9分野・44項目・143要求からなる要求書の趣旨説明を受け、秋元市長は、「多岐にわたる要望を頂き、貴重な意見とを考えている。内部で検討し、年度内に回答をしていきたい」と述べました。誰もが安心・安全に暮らしている札幌のまちづくりの実現へ、前進回答を引き出す取り組みを継続してまいります。

札幌地区連合は9月13日、札幌市の新年度予算編成へ向けた政策要求書を秋元市長に提出しました。緊急事態宣言下ということもあり、会長・事務局のみでの申し入れを行い、冒頭、野宮会長は「労働者が抱える課題をはじめ、札幌で生活する市民と労働者の『ふたつの目線』から捉えたまちづくりについて組織的な論議を行ってきた」と述べ、要求内容の実現へその検



距離をとって、趣旨説明

有期・短時間・契約で働く人が 安心して生活できる賃金水準を!

最低賃金の大幅な引き上げを!

連合 JTUC 連合北海道・連合石狩地域協議会

北海道最低賃金 10月1日28円の引き上げ 889円に!

10月1日から北海道地域最低賃金が現行から28円引き上げ889円に改定されます。現行の時間額表示に一本化された2002年以降の最高額であり、コロナ禍においても最低賃金の引き上げの必要性が受け入れられたことや、引き上げに伴い約40%のパート労働者の賃金引き上げに反映されることは評価できるものです。一方、本年度の改定額889円で2,000時間働いたとしても年収は約178万円にしかならず、「健康で文化的な最低限の生活を営む」ことができる水準にはなく、十分な改定額とは言えません。また、地域間格差の是正は未だ道半ばであり、連合が求める「誰もが時給1,000円」との目標と乖離がある等、解決しなければならぬ課題が多くあります。引き続き連合は改定された最低賃金の履行確保、法令遵守、更には8月から緩和・拡充された「業務改善助成金」等、中小・小規模企業が賃上げしやすい環境整備に向けた政府施策の周知と確実な実施、特定(産業別)最低賃金の引き上げを強く求めます。

連合北海道札幌地区連合会ホームページ

HPがリニューアル! スマホ対応になりました。

QRコードで速報をチェック!

<http://hokkaido.jtuc-rengo.jp/spk-chiku/>

札幌 れんごう

札幌市中央区北4条西12丁目 ぼくろうビル2階
編集発行人 野宮 佳則 ☎210-0505

2021年10月5日 435号
連合北海道札幌地区連合会